

# 質疑・一般質問

6月15日、16日、17日の本会議では、16人の議員が質問に立ち、新型コロナウイルス感染症対策などについて市の見解を求めました。発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



## 発言者一覧

— 発言順 — ( ) は会派名

**丸谷 聡子** (未来明石)  
①感染症に強い明石市への転換 ②気候非常事態宣言後の具体的な取組 ③新幹線車両基地問題

**三好 宏** (自民党 真誠会・代表質問)  
①新型コロナウイルス感染症の影響

**国出 拓志** (公明党)  
①新型コロナウイルス禍における防災・減災対策 ②災害時におけるライフラインとしてのインフラ整備と広域連携

**筒泉 寿一** (維新の会・代表質問)  
①コロナ対策

**林 健太** (自民党 真誠会)  
①妊婦に対する新型コロナウイルス感染症支援 ②各種大会、イベント

**尾倉 あき子** (公明党)  
①「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用による市内の中小企業の支援を ②新型コロナウイルス第2波に備えた今後の自治会・各種団体等の活動 ③コロナ禍で不安を抱える妊婦の方への支援で安心・安全な出産を

**森 勝子** (維新の会)  
①コロナ禍の市民生活支援

**井藤 圭順** (自民党 真誠会)  
①教育・保育施設のコロナ対策

**飯田 伸子** (公明党)  
①新型コロナウイルス感染症に対する本市の今後の医療対策への取組

**松井 久美子** (公明党)  
①コロナ禍における虐待(こども・女性等)及び性的少数者の現状と今後の対応 ②SDGsの推進に向けた使用済紙おむつの再生利用

**楠本 美紀** (日本共産党)  
①新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険の対応 ②新型コロナウイルス感染症対策のための生活保護業務及び就学援助制度における学校給食費の取扱い ③妊婦の方々に向けた新型コロナウイルス感染症対策

**吉田 秀夫** (フォーラム明石)  
①本市職員のテレワーク導入・推進 ②緊急事態宣言下におけるごみ排出状況 ③緊急事態宣言下における保育所・放課後児童クラブの運営 ④市民病院における医療従事者への支援策の拡充

**竹内 きよ子** (明石かがやきネット)  
①市内学校における新型コロナウイルス感染症対策のための教育環境整備

**家根谷 敦子** (スマイル会)  
①福祉避難所 ②新型コロナウイルス感染症支援策

**辻本 達也** (日本共産党)  
①市政の懸案事項 ②パートナーシップ制度 ③こどもの養育費緊急支援

**林 丸美** (明石かがやきネット)  
①市の文化行政 ②誰もが安心して学校教育を受けるための対策

## 日常生活を緊急支援 高齢者と障害者へ 1万円分の利用券交付

**問** コロナ禍での市民生活支援である高齢者と障害者へのサポート利用券の交付は、市民ニーズに込んでいるのか。

**答** 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために日常生活の緊急支援策として、重症化リスクの高い70歳以上の高齢者と障害者の合計約7万人に、1人当たり1万円分のサポート利



7月からは利用店舗を拡大

**問** 外出自粛が求められる6月中は、食生活の支援として飲食店から自宅への宅配と、通院などに使えるタクシーの利用に限定した。7月以降、外出自粛が段階的に緩和される状況になれば、日用品などの購入にも幅広く使えるよう利用できる店舗の拡大を進めていく。また、施設等の入所者も外出や面会等の制限が解除されたときは買い物やテイクアウトに

**問** 新型コロナウイルスの感染リスクがある状況下では、保育士養成学校の生徒が例年通りの就職活動をするのが難しい。本市独自の就職フェアを開催するなど、保育士確保に向けた取り組みを聞く。

**答** 本市の待機児童は、今年4月時点で365人であり、今年度は1

**問** 子どもの安全に過ごすための教育環境は、臨時休校による影響も考慮した万全な体制となっているのか。

**答** 本市は学校再開の際



昨年の就職フェアの様子

**問** 妊婦への支援 感染予防と心のケアも

**答** 本市は、従来より妊娠前から子育て期にかけてのさまざまな悩みに対する妊婦相談の周知に加え、感染症に関する相談や医療機関と

**問** 学校再開後の教育環境 サポート体制は万全か

**答** さらにサポート利用券の交付と併せて、日常生活の困りごとを聞くための緊急アンケートを実施しており、今後も市民一人一人に寄り添う、きめ細やかな支援につなげていく考えだ。

**問** 学校再開後の教育環境 サポート体制は万全か

**答** さらにサポート利用券の交付と併せて、日常生活の困りごとを聞くための緊急アンケートを実施しており、今後も市民一人一人に寄り添う、きめ細やかな支援につなげていく考えだ。

用券を交付した。利用期間は6月から12月までの7カ月間としている。

外出自粛が求められる6月中は、食生活の支援として飲食店から自宅への宅配と、通院などに使えるタクシーの利用に限定した。7月以降、外出自粛が段階的に緩和される状況になれば、日用品などの購入にも幅広く使えるよう利用できる店舗の拡大を進めていく。また、施設等の入所者も外出や面会等の制限が解除されたときは買い物やテイクアウトに

よる食事などを楽しんでもらいたいと考える。さらにサポート利用券の交付と併せて、日常生活の困りごとを聞くための緊急アンケートを実施しており、今後も市民一人一人に寄り添う、きめ細やかな支援につなげていく考えだ。

**問** 子どもの安全に過ごすための教育環境は、臨時休校による影響も考慮した万全な体制となっているのか。

**答** 本市は学校再開の際

し、年度初めの新たな学級づくりの必要性から、少人数とする学級の分散は行わなかった。夏休み期間は、授業時間を確保し学力を

保障するため、8月8日から16日までの9日間に短縮する。熱中症対策として、授業中はエアコンを使用するとともに登下校時の日傘や軽装を許可し、マスクの着脱についても柔軟に対応する。体育や部活動は暑さ指数を確認しながら実施し、給食は食中毒を出さないように調理後2時間以内に提供する。

また、運動会や音楽会など各学校が主催する行事は、一律に中止

受診の調整を行うなど、対応の充実を図り、妊婦の不安軽減に努めている。また、5千円分のタクシー券の交付や妊婦健康診査費用の助成、買い物や家事を援助する産前産後ヘルパーの派遣など、経済的・身体的な負担の軽減につながる支援を実施している。ヘルパーの派遣については、現在、体調不良時に周りからの援助を受けられない人を対象としているが、



今年は夏休みを大幅に短縮

今年度は1人当たり1万円分のサポート利

今年度は1人当たり1万円分のサポート利

今年度は1人当たり1万円分のサポート利

今年度は1人当たり1万円分のサポート利

今年度は1人当たり1万円分のサポート利

今年度は1人当たり1万円分のサポート利

今年度は1人当たり1万円分のサポート利